

リオン株式会社 会社説明会

取締役常務執行役員事業支援本部長 清水健一



東証一部 証券コード: 6823

<http://www.rion.co.jp/>

登壇者プロフィール

1978年4月	当社入社
2003年4月	当社経営管理統括部経理部長
2003年6月	当社取締役経営管理統括部長
2004年4月	当社取締役管理統括部長
2006年7月	当社常務取締役管理統括部長
2007年6月	当社常務取締役経営企画統括部長
2009年6月	当社取締役常務執行役員 経営企画統括部長
2010年4月	当社取締役常務執行役員 グループ経営戦略室長
2012年4月	当社取締役常務執行役員 事業支援本部長（現任）



取締役常務執行役員
事業支援本部長
清水 健一

- 1940年 「(財)小林理学研究所」設立
- 1944年 **「(株)小林理研製作所」(現リオン)設立**
- 1948年 日本初の量産“補聴器”を発売
- 1952年 “聴力検査器”を発売
- 1955年 “騒音計”を発売
- 1960年 **「リオン株式会社」に社名変更**
- 1977年 “微粒子計”を発売
- 1996年 株式を店頭公開
- 2000年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2005年 世界初の“防水型オーダーメイド補聴器”を発売
- 2010年 組織改編により「事業部制」を導入
- 2011年 **東京証券取引所市場第一部銘柄に指定**



リオン株式会社
(東京都 国分寺市)



“日本初”の量産補聴器



“世界初”の防水型
オーダーメイド補聴器

社名変更(1960年4月)

「財団法人小林理学研究所」

設立

… 当社の設立母体

「**理**学」および「**音**響学」の研究所

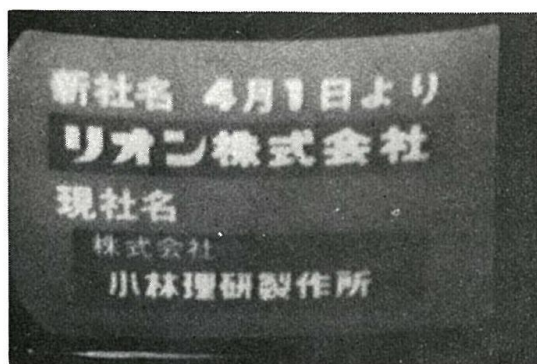
「株式会社小林理研製作所」

… 研究成果を製品化するための製造工場

社名
変更

理と**音**をカタカナで表現。

リオン株式会社



社名変更をテレビでアピール
(昭和35年)

創立15周年を記念。

技術立社の特徴を生かし、
理学に深く根差した音響とその関連分野を
さらに開拓していく心意気を表現。

当時においてカタカナの社名は
時代の先端を行くもの。

医療機器事業

【補聴器】



耳かけ型補聴器



ポケット型補聴器



耳あな型補聴器

【医用検査機器】



オーディオメータ
(聴力検査器)



聴力検査室

主力製品“リオネット補聴器”のほか、聴力検査に用いられるオーディオメータなど、耳鼻咽喉科領域を中心に各種医療機器を展開しています。

環境機器事業

【音響振動計測器】



騒音計

振動計

【微粒子計測器】



気中微粒子計



液中微粒子計

環境騒音を測定する騒音計、設備診断等に用いられる振動計のほか、工場の清浄度管理に使用する微粒子計などの製品があります。



地震計



周波数分析器

リオンの特徴: ①高い市場シェア

主要製品はすべて国内トップシェア

◆オージオメータ 約80%

競合他社(モリタ製作所、永島医科器械ほか)

◆騒音計 約75%

競合他社(小野測器、アコーほか)

◆液中微粒子計 約65%

競合他社(スペクトリス、ハックウルトラほか)

◆補聴器 約30%

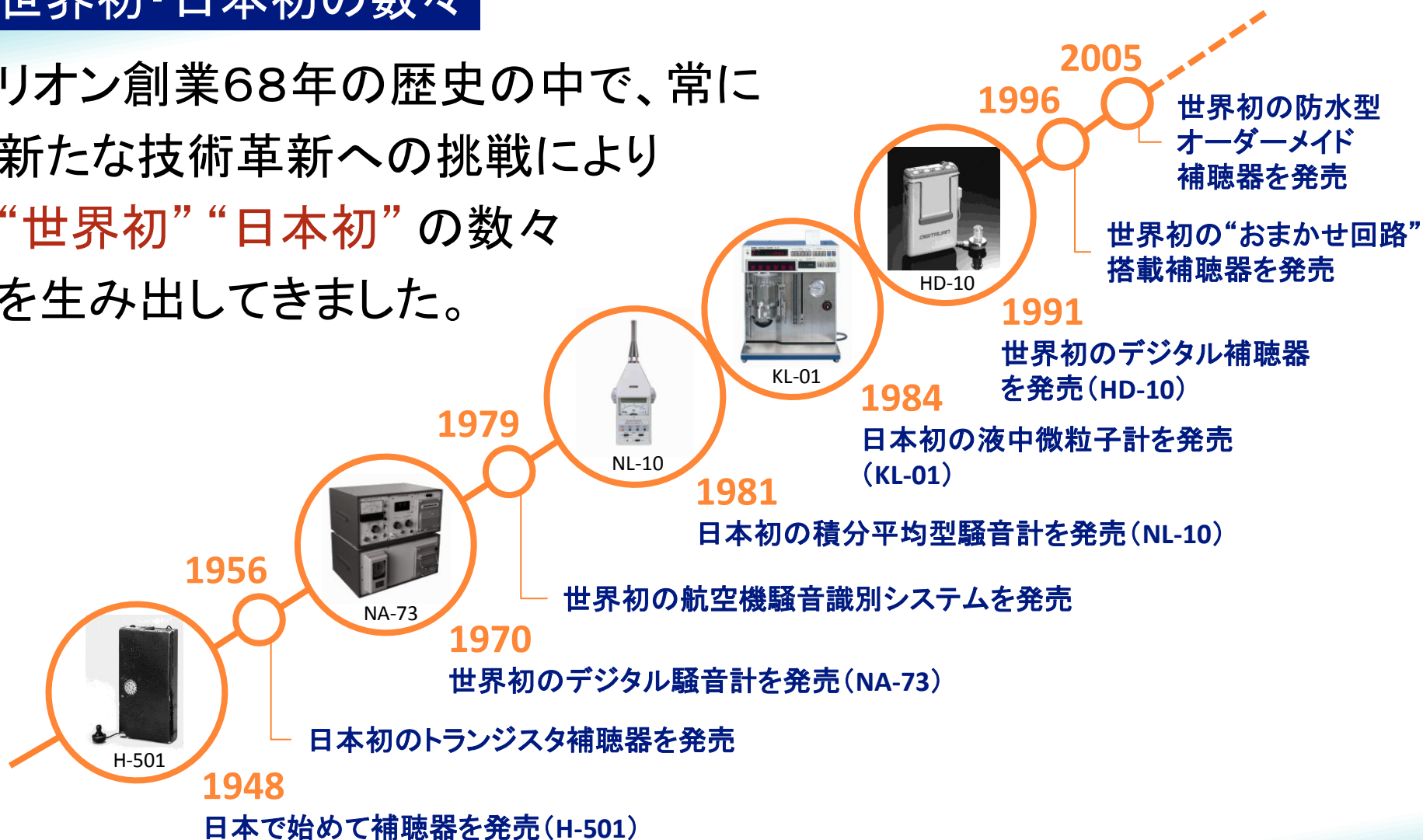
競合他社(シーメンス、オーティコン、GNリサウンド、ワイデックス、
フォナック、パナソニック、スターキーほか)

リオンの特徴: ②高い技術力

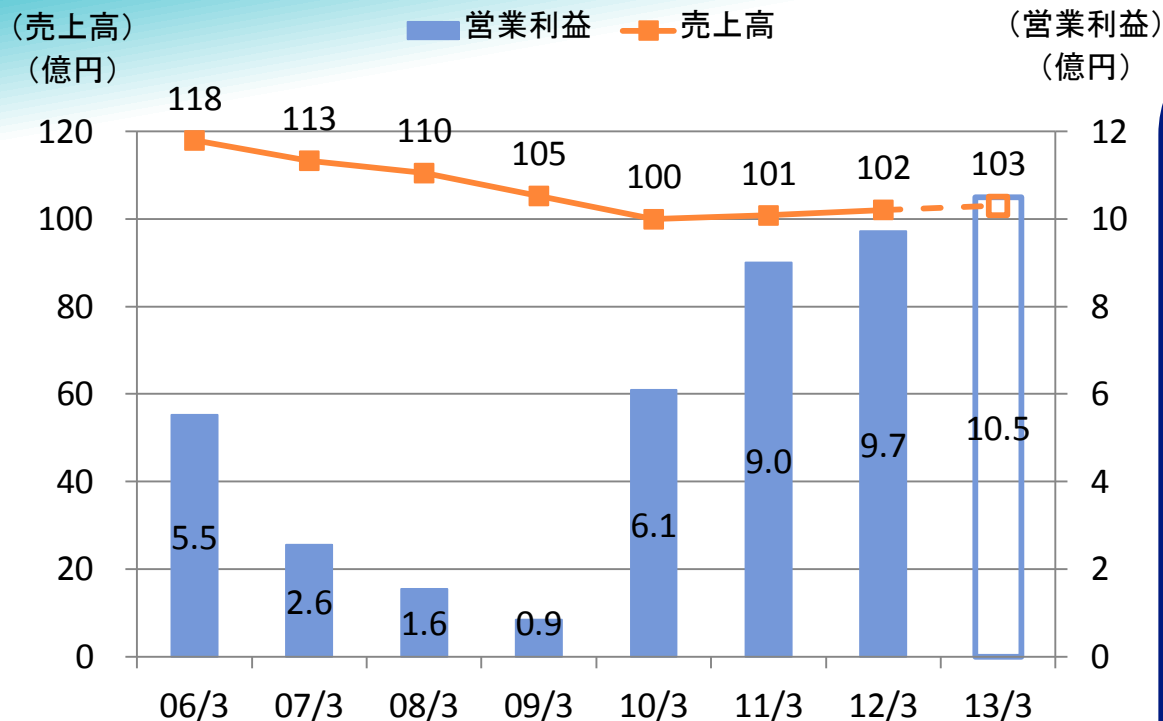
世界初・日本初の数々

リオン創業68年の歴史の中で、常に
新たな技術革新への挑戦により

“世界初”“日本初”の数々
を生み出してきました。



【医療機器事業】業績の推移



(単位: 百万円)

	前期 (2012/3)	当期予想 (2013/3)	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	10,208	10,300	91	0.9%
営業利益 (営業利益率)	972 (9.5%)	1,050 (10.2%)	77	8.0%

◆概況

- ・景気動向に左右されない安定した売上高
- ・原価低減および諸経費の効率的使用により、2010年3月期以降は営業利益率が向上

⊕ 要因

- ・高齢化による国内補聴器市場の拡大

➊ 要因

- ・市場拡大による消費者ニーズの急速な多様化
⇒ ラインナップの拡充

【医療機器事業】市場概況

国内市場の動向

◆超高齢社会

国内総人口：約1億2800万人
(うち70歳以上：2000万人)

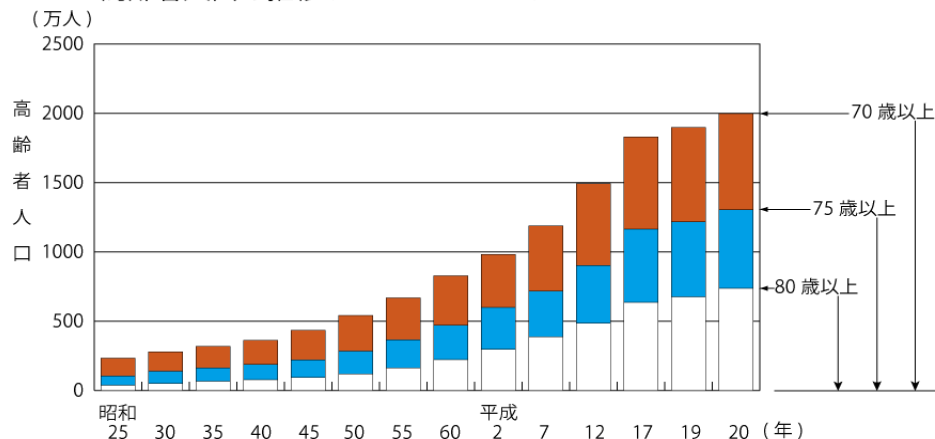


◆補聴器市場の拡大

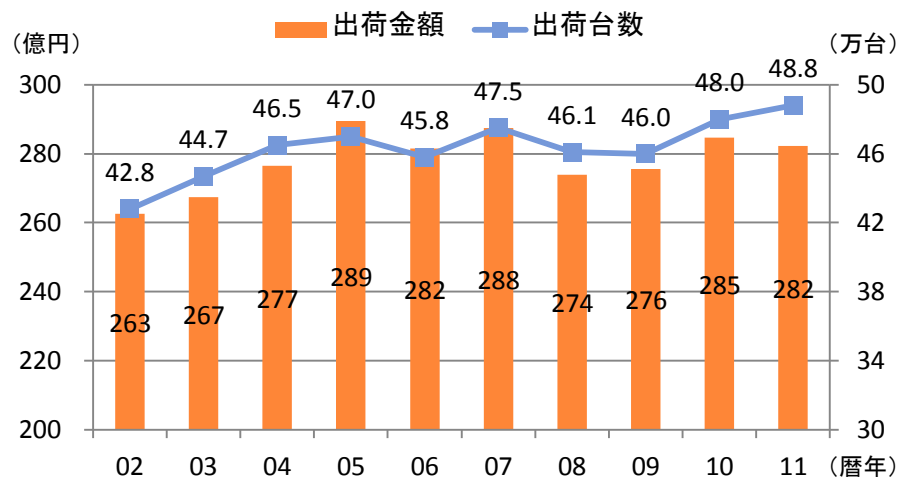
出荷台数は年間48万台を突破。
ユーザー層の増加に伴い、
近年は継続的に増加している。

(※右グラフは日本補聴器工業会加盟メーカーに限る。)

高齢者人口の推移 (昭和25年～平成20年)



(出典：総務省統計局)



(出典：日本補聴器工業会)

補聴器ラインナップの拡充

◆新製品「リオネットマジェス」発売

・新技術の導入により、高付加価値を訴求。

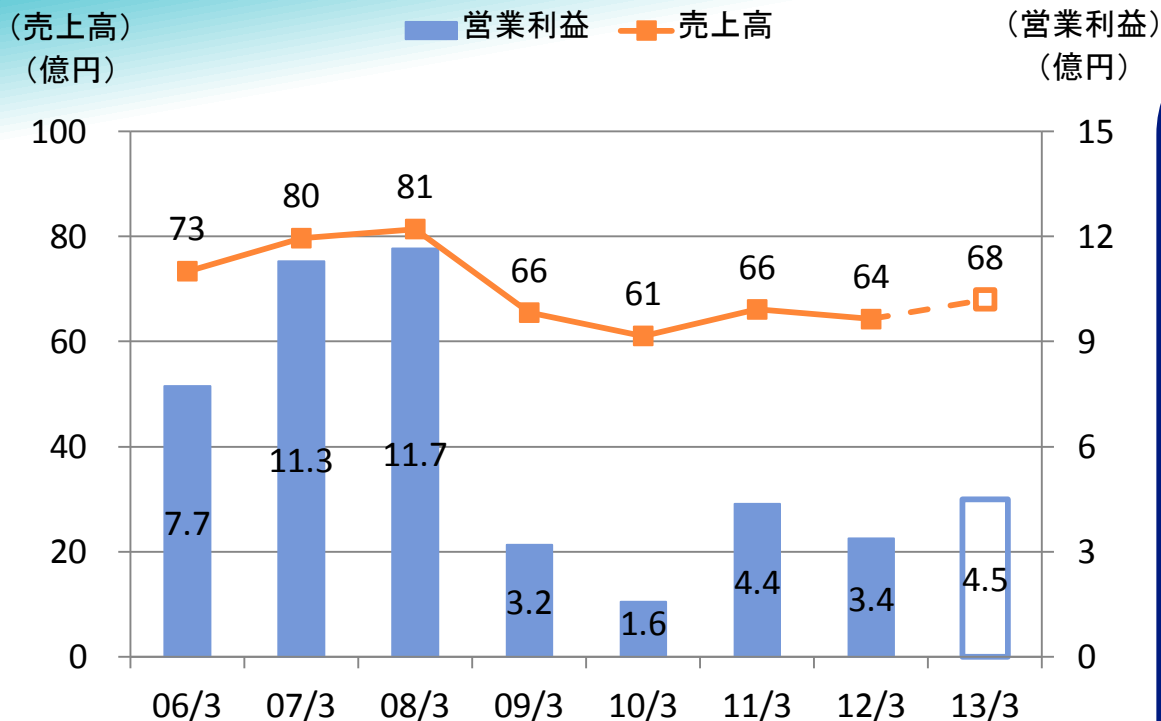
- ①「風雑音の低減」など、聞こえの向上。
- ②「自動学習機能」など、使いやすさの向上。
- ③「耐汗コート」による、撥水性の向上。



★富裕層における高付加価値製品のニーズに対応し、大都市中心部をターゲットに更なる拡販を推進する。



【環境機器事業】業績の推移



(単位: 百万円)

	前期 (2012/3)	当期予想 (2013/3)	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	6,426	6,800	373	5.8%
営業利益 (営業利益率)	337 (5.2%)	450 (6.6%)	112	33.4%

◆ 概況

- ・売上高と営業利益は相関して推移
- ・今後は売上高の向上が課題

⊕ 要因

- ・国内市場においては高シェアを確保し優位な状況

⊖ 要因

- ・国内市場の成熟化
 - ・日系企業による生産拠点の海外移転が増加
- ⇒ 海外売上比率の向上

【環境機器事業】市場概況

国内から海外へ

◆国内市場の成熟化

国内では、環境機器事業全体において高シェアを確保。
高品質と充実したメンテナンス体制が高い評価を得る。

⇒ その反面、市場成熟化により今後の拡大が望みにくい状況。

◆海外市場への進出

円高等の影響を受け、日系企業による
生産拠点的海外移転が増加。

⇒ 特にアジア圏の重要性が向上。



★海外市場において、シェアの伸長を目指す。

【環境機器事業】事業戦略

中国市場への展開

◆中国市場の動向

経済発展に見合う生活レベルの向上を指向。

医療・環境の両分野においてインフラ整備が加速。

⇒ 堅実な成長が予想され、魅力的な市場。

◆中国駐在員事務所

2010年、中国上海市に駐在員事務所を開設。

情報収集および現地顧客・代理店網との

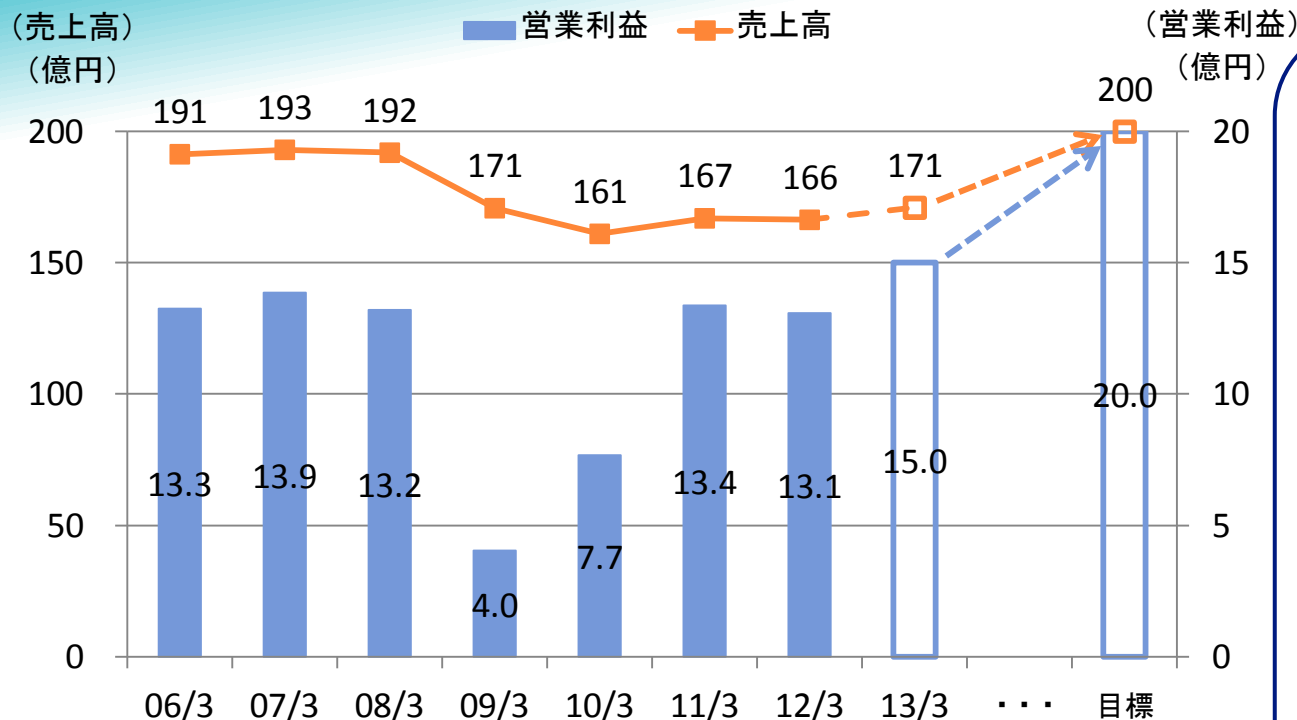
パイプラインとして機能。

⇒ 今後は、修理・メンテナンスまでを含めた
販売子会社として法人化を計画。



中国駐在員事務所
(中国上海市)

目標とする経営指標



(単位: 百万円)

	前期 (2012/3)	当期予想 (2013/3)	対前期比 増減額	対前期比 増減率	目標
売上高	16,634	17,100	465	2.8%	20,000
営業利益 (営業利益率)	1,309 (7.9%)	1,500 (8.8%)	190	14.6%	2,000

◆過去の概況

・リーマンショックを境に売上高が低下
⇒ 利益体質改善により、リーマンショック前の営業利益を確保できるまでに回復

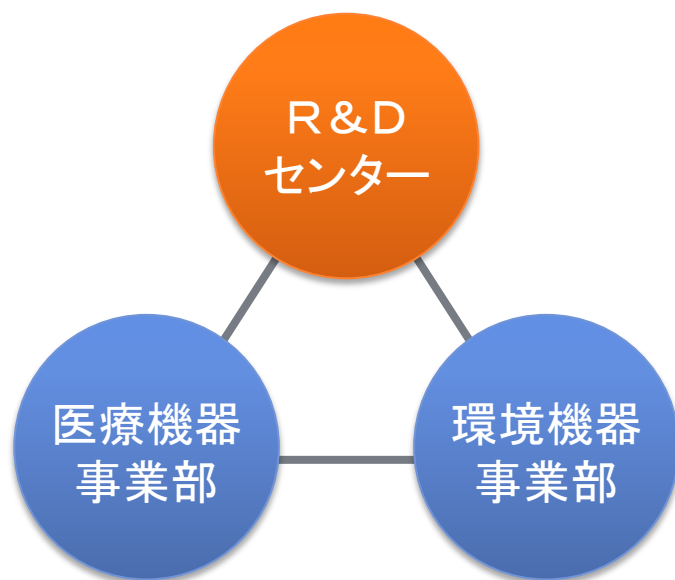
◆今後の施策

・最高益更新のため、高利益体質を維持した上での増収が必要不可欠
⇒ 海外展開の推進に加え、新規分野の研究開発により新たな市場を開拓

R&Dセンターの開設

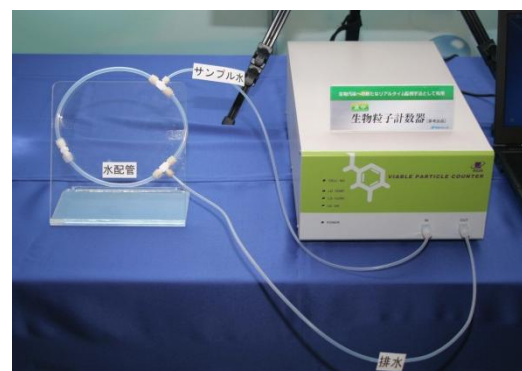
2010年の組織変更に伴って設立。
各事業部から独立し、将来に向けた
基礎技術・新規技術の研究を行う。

⇒ 長期的な視点に立った技術力強化。



◆研究開発成果

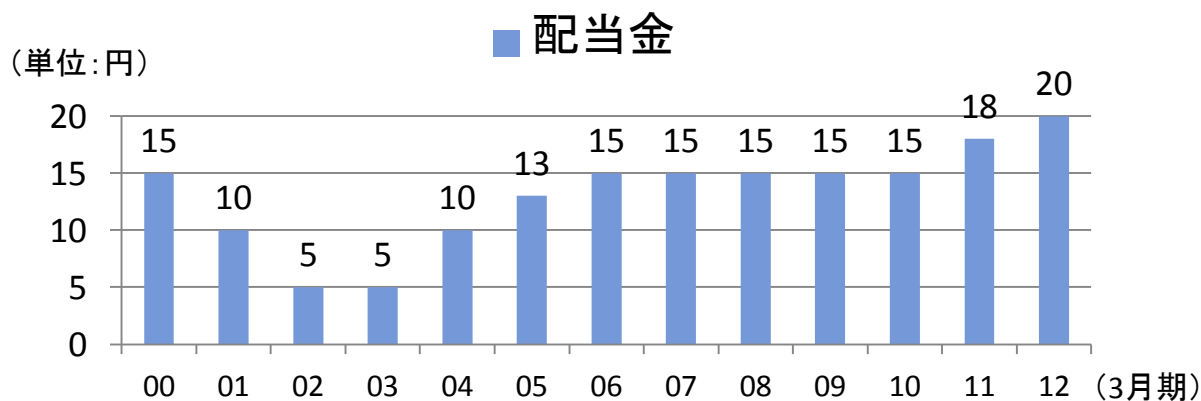
・水中生物粒子測定装置



・軟骨伝導補聴器



株価・配当金



株価

2012年7月20日終値
534円

配当金

2013年3月期予想
20円



配当利回り 約3.8%
PBR 約0.5倍
PER 約10倍

★東証一部単純平均
利回り 2.3%
(2012年6月現在)

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主様を対象に株主優待を実施しております。

株主優待

①ジェフグルメカード(食事券)

10,000株以上	10,000円分
5,000株以上	5,000円分
1,000株以上	3,000円分
500株以上	1,500円分



②リオネット補聴器購入割引券

500株以上

※メーカー希望小売価格の10%割引
(片耳購入の場合は1台分)
(両耳同時購入の場合は2台分)



【添付資料】資産の推移

資産の部

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
流動資産	11,885	10,885	10,849	10,919	11,095	11,161	10,516	10,321	10,887	11,059
固定資産	12,535	12,397	12,693	12,995	12,939	12,495	11,814	11,710	11,565	11,394
資産合計	24,420	23,283	23,543	23,914	24,034	23,657	22,330	22,031	22,453	22,453

負債・純資産の部

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
流動負債	4,478	4,677	5,267	5,516	5,768	4,987	4,248	4,361	4,355	4,206
固定負債	11,510	9,772	9,165	8,656	8,236	8,348	8,413	7,735	7,543	7,040
負債合計	15,988	14,450	14,433	14,173	14,004	13,335	12,662	12,096	11,899	11,247
純資産合計	8,432	8,833	9,110	9,741	10,029	10,321	9,668	9,935	10,553	11,206
負債純資産合計	24,420	23,283	23,543	23,914	24,034	23,657	22,330	22,031	22,453	22,453

【添付資料】業績の推移

売上高・各種利益・配当金

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3 (予想)
売上高	17,192	18,020	18,540	19,133	19,300	19,190	17,077	16,100	16,691	16,634	17,100
営業利益	333 (1.9)	685 (3.8)	828 (4.5)	1,326 (6.9)	1,386 (7.2)	1,320 (6.9)	404 (2.4)	766 (4.8)	1,338 (8.0)	1,309 (7.9)	1,500 (8.8)
経常利益	184 (1.1)	543 (3.0)	672 (3.6)	1,139 (6.0)	1,284 (6.7)	1,025 (5.3)	286 (1.7)	674 (4.2)	1,304 (7.8)	1,292 (7.8)	1,400 (8.2)
当期純利益	180 (1.1)	355 (2.0)	354 (1.9)	662 (3.5)	512 (2.7)	435 (2.3)	△514 (△3.0)	371 (2.3)	777 (4.7)	561 (3.4)	700 (4.1)
1株当たり当期純利益(円)	18.08	34.62	33.23	63.41	51.02	42.59	△49.18	35.50	74.25	53.65	66.83
配当金(円)	5.00	10.00	13.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	18.00	20.00	20.00

※下段()内の数値は対売上高比率%

ROA・ROE

(単位: %)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
ROA	0.7	1.5	1.5	2.8	2.1	1.8	△ 2.3	1.7	3.5	2.5
ROE	2.1	4.0	3.9	6.8	5.1	4.2	△ 5.3	3.7	7.4	5.0

※ROA:総資産当期純利益率、ROE:純資産当期純利益率

【添付資料】セグメント別業績の推移

売上高

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3 (予想)
医療機器	11,616 (67.6)	11,696 (64.9)	11,609 (62.6)	11,794 (61.6)	11,331 (58.7)	11,048 (57.6)	10,526 (61.6)	9,993 (62.1)	10,080 (60.4)	10,208 (61.4)	10,300 (60.2)
環境機器	5,576 (32.4)	6,323 (35.1)	6,931 (37.4)	7,339 (38.4)	7,968 (41.3)	8,142 (42.4)	6,550 (38.4)	6,107 (37.9)	6,611 (39.6)	6,426 (38.6)	6,800 (39.8)
合計	17,192	18,020	18,540	19,133	19,300	19,190	17,077	16,100	16,691	16,634	17,100

※下段()内の数値は対合計比率%

営業利益

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3 (予想)
医療機器	946 (8.1)	625 (5.3)	386 (3.3)	552 (4.7)	256 (2.3)	155 (1.4)	85 (0.8)	609 (6.1)	901 (8.9)	972 (9.5)	1,050 (10.2)
環境機器	△ 612 (△11.0)	59 (0.9)	441 (6.4)	773 (10.5)	1,129 (14.2)	1,165 (14.3)	319 (4.9)	157 (2.6)	436 (6.6)	337 (5.2)	450 (6.6)
合計	333 (1.9)	685 (3.8)	828 (4.5)	1,326 (6.9)	1,386 (7.2)	1,320 (6.9)	404 (2.4)	766 (4.8)	1,338 (8.0)	1,309 (7.9)	1,500 (8.8)

※下段()内の数値は対売上高比率%

【添付資料】棚卸資産等の推移

棚卸資産

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
棚卸資産	3,724	3,606	3,636	3,685	3,714	3,653	3,393	2,818	2,877	3,015
回転率(回)	2.6	2.9	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	3.2	2.9	2.7

有利子負債

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
有利子負債	9,221	7,283	7,142	6,720	6,391	6,005	5,904	4,910	4,583	4,200
有利子負債 比率(%)	109.4	82.5	78.4	69.0	63.7	58.2	61.1	49.4	43.4	37.5

研究開発費

(単位:百万円)

	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3
研究開発費	1,535	1,461	1,432	1,437	1,364	1,452	1,404	1,301	1,315	1,496
対売上高比 率(%)	8.9	8.1	7.7	7.5	7.1	7.6	8.2	8.1	7.9	9.0

- ◆ 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ◆ いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。